

## 新規採用者研修を終えて

平成15年4月に畜産草地研究所に新規採用された森田聡一郎と松浦庄司の2名は、当所において4月下旬より約3ヶ月間の所内研修を受けました。

主な研修内容は、研究部及び業務科での研修、「低カリウム飼料給与による乳牛からのカリウム排泄量低減化実証試験」への参加、財団法人神津牧場での実習でした。2人とも畜産を全く知らずに入所したこともあって最初は間近で見る乳牛の大きさにさえ戸惑う状態でしたが、畜産に関する講義を受けたり様々な家畜に実際に触れたり、全く新しいことを経験する毎日はとても新鮮であり、これから畜産草地に関わる研究を行っていくのだという意識を日々強くすることができました。特に、家畜の屠殺・解体や淘汰といった、日頃の生活で目にする機会のない部分を見られたことは、畜産とはどういうものかということを考える良い契機になったと思います。



飼料等の化学分析の様子(左が松浦、右が森田)

乳牛からのカリウム排泄量低減化実証試験は、糞尿の草地への還元によって起こるカリウム過剰害に対応するために実施されました。この試験では、飼料の調製から糞・尿・乳の採取・分析まで様々な面で乳牛に接することで畜産の実験手法を学びましたが、同時に、土壌-牧草-家畜が有機的に結びついた生産の考え方についても学ぶことができ、大変有意義なものとなりました。

これからいよいよ研究者としての業務が本格的に始まりますが、この約3ヶ月間の研修の中で学んだことや考えたことを今後の研究生活に活かしていきたいと思えます。

最後に、この実り多い研修を支えて下さった方々に、心より感謝いたします。

(草地生態部 草地資源評価研究室 松浦庄司)



所内発表会終了後関係者にて  
(左から4人目が森田、6人目が松浦)